

DANCE OF THE VEIL *Presents*

LIVE & WORKSHOP 「ジャズの正体」

Vol.1

ジャズの魅力を
徹底解剖



ジャズのイメージは？という質問をすると～

「大人の音楽っぽくて気になるけれど、どう聴いていいかわからない！敷居が高くて、難しそう！」という声をよく聞きます。元来、ジャズは自由な音楽です。その構造や、演奏スタイルを知り、スタンダードに馴染み、自分にとって大切な1曲を見つけられると、徐々に自分とジャズの距離が縮まり、気がつくとい生楽しめるパートナーになります。

また、聴くだけじゃもったいない、演奏してやろうという心意気があるなら、なおさら、僕ら(DANCE OF THE VEIL)のワークショップは目からウロコの楽しい時間になるってお約束します。ぜひぜひご参加ください。 サックス奏者 藤田絢三

コンテンツ

- ジャズの正体を暴く～歴史的考察を含む
- ジャズの醍醐味って何だ？
- あの有名なポップスをジャズにして演奏してみる
- DANCE OF THE VEIL のライブ

2016 **11.5** [Sat]

16:00開演 (15:30開場)

定員 30名

参加料 3,000円(税込)

<お申込み・お問合せ>

 **トート音楽院**

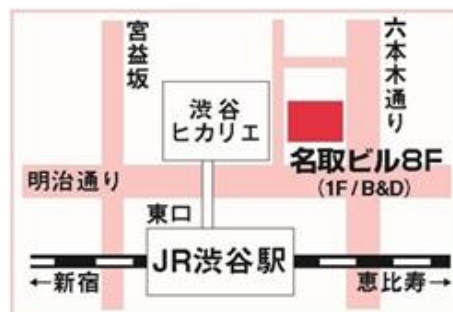
TEL 03-3407-4100

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-22-8 名取ビル8F

■営業時間 【月～金】 10:00～21:30 【土・日】 10:00～19:00

■休校日 祝祭日

■URL <http://www.thoth.co.jp/>



DANCE OF THE VEIL

画家パブロ・ピカソの作品名から命名された、ジャズグループ。
その名の由来通り、ピカソの画風のように、既存のルールや概念にとらわれない自由でダイナミックな
発想の表現を真骨頂としている。

2015年3月にファーストアルバム「DEEP BLUE」(Breath Field Records)をリリース。

メンバー紹介

□ 藤田 絢三 JUNZO FUJITA (SAX)

JATPもルイ・アームストロングも生で見た、ジャズ狂いの父親に、日常でジャズを聴かせて育つ。
大学時代から本格的にサクスを始め、大友義雄氏に師事。卒業後バークリー音楽大学に留学。
ジョセフ・ピオラ氏、ビル・ピアース氏らに師事。
帰国後、ジャズライブ活動と並行して現代美術とのコラボレーションや、ラジオのパーソナリティーなど様々な活動をする。
現在もビバップからフリーまで幅広いライブを行っている。
サクス教室プレスフィールド主宰。教則本も多数執筆している。

□ 芳賀 信顕 NOBUAKI HAGA (PIANO)

幼少より音楽の手ほどきを受け、クラシックピアノを森澄江氏に師事。
大学在学中にジャズピアノを始め、都内のライブハウスで演奏活動を開始する。
ジャズピアノを大橋高志氏、宮前幸弘氏に師事。
ジャズ、ロック、フォーク、アフリカンミュージック、アイリッシュなど様々なバンドのセッションに参加している。
人間味あふれる響きを創り出すピアニスト。

□ 山本 直樹 NAOKI YAMAMOTO (DRUMS)

高校時代よりドラムを始める。
その後、金子敏夫氏、水野オサミ氏に師事。
ジャズ、ロック、ラテンと様々なジャンルのライブやレコーディングで活躍。
渋さ知らズのメンバーとして、日本は元より、ヨーロッパ各地のジャズフェスティバルでも演奏し、称賛される。
歌を感じさせるそのドラミングには定評がある。

ゲスト：

□ 中山 大輔 DAISUKE NAKAYAMA (BASS)

静岡県浜松市生まれ。高校からエレクトリックベースを始める。大学入学と共にジャズサークルに入部。
レイ・ブラウンやニールス・ペデルセンらに感銘を受け、ウッドベースを始める。
在学中から市内のライブハウスにて演奏活動を行う。
2013年に上京、現在まで都内各所にて自己のバンドやサポートでライブ活動を行う。

